

# 保護者の声



## 保護者の声

人見知りがひどかったので、幼稚園に楽しく通えるのかとても心配していました。ウルスラ幼稚園は縦割り保育なので、年長、年中のお兄ちゃんお姉ちゃんにやさしく接してもらい、楽しく過ごせました。年長になった時、今度は自分がやさしくしてもらったように、年少の子達にやさしく説明している姿にびっくりしました。「子どもには“こうしなさい”と口で言ってもわかりません。大人や他の子の行動を見て、その通りに行動するのですよ」という、シスターのお話の意味がよくわかった気がします。

(お姉ちゃんが卒園生・妹が年長児のお母様より)

現在下の子を通園させております。思えば私の幼稚園探しは、上の子の3歳の時でした。その時はまだ下の子も1歳になっておらず、私自身上のお兄さんの赤ちゃん返りや、やんちゃぶりに手がかかっていた時期だったので、とても気分的にもブルーな時期だったと思います。そんな時、沢山の近場の幼稚園の訪問を終え最後に向かったのがウルスラ幼稚園でした。園児達は調度、運動会の練習真っ最中。上のお兄ちゃんは何の躊躇もせず、幼稚園児にまざって走っている子の応援を始めました。その姿を見てシスターが近寄り「もうすっかりうちの子(園児)みたいねー。」と声をかけていただき、その対応が私の中でポカポカとした言葉に包まれたような、暖かさを感じ、とても好印象だったのを今でも覚えています。今ではすっかり2人の子どもも大きくなり、やんちゃだったお兄ちゃんは小学生で元気いっぱい、勉強にスポーツに沢山の事に挑戦する子どもに育ち、下の女の子は年長さんになりました。下の子も入園当初は、私と離れるのを嫌がりよく泣いていた、甘えん坊だったのも嘘のように、困っている年少さんを見ると、直ぐにかけつけてお世話をしあげるやさしいお姉さんに育っています。これも沢山の人の関わりの中で、大切な“感謝”する気持ちや“ごめんなさい”といえる素直な心を持つことが出来るよう導いて下さるウルスラ幼稚園の教育方針の賜物ではないでしょうか。そしてその環境を作って下さる園長様をはじめ、シスター先生方の支えあっての事だと思います。本当にウルスラ幼稚園を選んで良かったです。

(お兄ちゃんが卒園生・妹が年長児のお母様より)

## 入園を控えられた方々へ

聖心ウルスラ幼稚園はモンテッソーリの教えに基づいた縦割りクラスです。同じクラスに年少～年長までが学んでいます。年少の頃、年中・年長の人たちに手助けしてもらった経験をする事により、自然と人の世話や思いやりの心が芽生え、人間としての成長の基礎を築ける素晴らしい幼稚園だと思います。聖心ウルスラ幼稚園と出会うことができ、本当に良かったと実感しております。

(お兄ちゃんが卒園生・弟が年長児のお母様より)

聖心ウルスラ幼稚園にお世話になって5年目になります。この幼稚園に入って良かったと思う事はたくさんありますが、やはり1番は“子ども第一”だと言う事でしょうか。幼稚園なのだから当たり前ですが、今の時代これは本当に難しい事だと思います。私には二人の息子がいますが、もちろん考え方も性格も違います。それをきちんと見極めてくださり、本当に個人個人に合った対応をされています。また縦割りの為、幼稚園に行けば兄にも弟にもなれると言う経験が出来ています。今、下の子は年長なのですが、2つ年下の年少さんの話ばかりしています。自分が弟だからお兄ちゃんになったようで、とても楽しいようです。と同時に下の子のお世話をしたり、遊んだりする中で自信と思いやりの心が育っているように思います。思いやりの心と言えば、上の子が小学校に入学してすぐの頃、クラスに軽い障害のあるお子さんがいらっしゃいました。上の子はその子と共通の趣味もあり会話こそあまりありませんでしたが、普通に接していました。そんな時、友達に「あの子は障害があるのになんで遊ぶと？」と言われて帰って来ました。私は「障害って何？」と聞かれうまく答えが見つからず「普通の人と違うところがあるって事かな」と答えました。すると「なんで、なんで人と違ったらいかんと」と言い出しました。私はこの言葉にとっても驚きました。幼稚園で教えていただいた「みんな違ってみんないい」という言葉をこの子はきちんと理解し、行動出来る子なんだと思いました。特別優等生でもない我が子の口からこんな言葉がでるなんて、心からうれしく誇らしく思いました。今はクラスも変わり、登下校時に会う程度ですが息子の対応は前と一つも変わりません。誰に何を言われようと、自分で考え、自分で判断する、と言う事が身に付いているように思います。これも一重に幼稚園のお陰だと感謝しています。

(お兄ちゃんが卒園生・弟が年長児のお母様より)  
ご主人も卒園生です！